



所在地 鎌倉市御成町 18-35

建物概要

- ・構造 木造2階建て一部3階建て
和洋折衷のデザイン
- ・屋根 葺き切妻、洋小屋組
- ・外壁 モルタルリシン掻き落し、
腰部 スクラッチタイル張り

建築面積 延べ面積 約 343 m²

(1階 165 m² 2階 139 m² 3階 39 m²)

建築年 昭和11年(1936年)

管理者 鎌倉市

交通 JR 鎌倉駅より徒歩3分

旧鎌倉図書館は神奈川県で2番目に古い図書館遺構です。木造2階建て、モルタル塗りの白壁に縦長の窓という洋風の造りに、瓦葺きの屋根、破風板に懸魚という和風の要素を取り合わせた外観を有し、1階の児童閲覧室に入ると天井に優雅なカーブを描く梁が見られ、2階に上がる階段の手摺りはアールデコ風の意匠が施されています。2階にある婦人閲覧室は床を一段高くした畳敷きの部屋で、三方に窓を配して明るく魅力的な空間を作り出しています。2階建ての中に書庫が3層に生まれ、その最上階は天井を張らず洋小屋組みが露出し、創建時に制作されたホゾ組の書架も残っています。

すでに鉄筋コンクリート造りが主流であった昭和戦前期の図書館建築の中で、木造でしかも閲覧室・書庫一体型の建築例は希少です。また、関東大震災後の建造物とあって、耐震性を高めるため入念な構造設計がなされ、通気性にも工夫を凝らすなど、多くの特徴をもった近代建築物です。

鎌倉の図書館は明治44年(1911)に創設されましたが関東大震災で全壊し、鎌倉在住の実業家、間島弟彦・愛子夫妻の寄附によって昭和11年(1936)、御成小学校敷地内に再建されました。昭和49(1974)年に現在の中央図書館ができるまで鎌倉図書館として市民に親しまれました。その後は学童保育や市役所の分室として使用されましたが、現在は改修中で平成31年(2019)に子どもの家などとして開設する予定です。

(2018年9月現在)

Galley

